

令和3年度

学校経営方針

1 学校経営方針

「全ての生徒が誇りを持って生活・学習する活力ある学校」を目指し、校長のリーダーシップの下、全職員が一丸となって、保護者・地域・関係機関と連携しながら、「知・徳・体」の調和のとれた教育活動を推進していく。

2 教育目標

強い意志と自律、友愛の精神を培い、健康で創造性に富む生徒の育成

3 目指す六郷中の姿

自 律	友 愛	健 康	創 造
【生徒像】 正しく判断し、行動できる生徒	【生徒像】 友を思い、仲良く生活できる生徒	【生徒像】 命を大切にし、心身を鍛える生徒	【生徒像】 自ら学び、全力を尽くす生徒
【教師像】 愛情を持ち、時に優しく時に厳しく毅然とした指導がができる教師	【教師像】 生徒の声に耳を傾け、共感的に理解し、温かな支援ができる教師	【教師像】 生徒の安全・安心を最優先に考え、対応できる教師	【教師像】 研修に励み、主体的・対話的で深い学びを保証できる教師
【学校像】 礼儀正しく、元気なあいさつが飛び交う活気のある学校	【学校像】 互いに認め合い、支え合い、助け合うことができる学校	【学校像】 生徒の安全・安心が確保される学校	【学校像】 生徒の学びを大切に、楽しくわかる授業が展開される学校

4 本年度の重点目標（目指す六郷中の姿に近づくために生徒に育むべき力）

- (1) 【自律】 規範意識を身に付け、正しく判断し、行動できる力の育成
- (2) 【友愛】 相手を思いやり、自他共に大切にしながら、望ましい人間関係をつくる力の育成
- (3) 【健康】 心と体をしなやかに鍛え、健やかに生活する力の育成
- (4) 【創造】 学習したことを新しい発見や発想につなげ、将来の学びに生かす力の育成

5 重点目標達成のための本年度の具体的方策（下線は、協働型学校評価と関連する部分）

- (1) 【自律】 正しく判断し、行動できる力の育成
 - ・社会の一員としての「正しい規範意識」を育む積極的生徒指導
 - ・望ましい生活習慣を身に付けさせる指導（あいさつ、時間厳守、授業規律、家庭学習等）
 - ・生徒自ら課題を解決する生徒会を中心とした自治活動の推進
 - ・全校集会、学年集会時の整列、参加態度等の全体指導
 - ・進路達成に向け、計画的な取組を支援する進路指導の充実
- (2) 【友愛】 望ましい人間関係をつくる力 ⇒ 協働型学校評価の到達目標
 - ・生命と人格を尊重する「豊かな人間性」を育む道徳授業の内容と質の向上
 - ・一体感・達成感を感じさせる文化的・体育的・旅行的行事の計画的指導
 - ・全校体制で組織的に取り組むいじめ防止、不登校対策の推進
 - ・あいさつ運動、ボランティア活動、地域連携行事への積極的な参加
 - ・地域を支える人々の社会貢献力・郷土愛への気づき（被災校として）

(3) 【健康】 健やかに生活する力の育成

- ・保健体育や学校給食と連携した「健康でたくましい心と体」を育む健康教育の推進
- ・文武両道の精神，体力向上を目指した主体的に取り組む部活動の推進
- ・家庭と連携した基本的な生活習慣の確立
- ・生徒の様々な心の問題を解消するための教育相談と支援体制の充実
- ・震災にともなう生徒の心のケアの継続

(4) 【創造】 将来の学びに生かす力の育成

- ・主体的・対話的で深い学びに向けた授業力向上の研究推進
- ・自らの学びの成果を次の学びに生かす，生徒の主体的な学びを育む授業実践
- ・各教科等で学んだことを，学校生活に生かす学級活動，学校行事の工夫
- ・少人数指導やTT指導等による，個に応じた，きめ細やかな学習指導
- ・基礎学力定着のための定期考査前の学習相談，朝学習の継続

6 協働型学校評価

仙台市で平成22年度から始まった協働型学校評価とは，学校・家庭・地域の三者が，それぞれの立場から，生徒のよりよい姿（目指すべき生徒の具体的な姿）を実現するために改善活動を行うものである。協働型学校評価の到達目標は，学校の重点目標の中から，学校が家庭・地域と協力して取り組んでこそ，より教育効果が期待できるものに焦点をあて設定する。六郷中では，学校の重点目標(1)(2)を踏まえ，協働型学校評価の到達目標としている。到達目標を踏まえ，協働型学校評価の重点目標（目指すべき生徒の具体的な姿）を以下のように定め，改善活動に取り組むこととする。

協働型学校評価の到達目標		
正しい生活リズムを身に付け，人との関わりを大切にしながら目標に向かって努力する生徒		
協働型学校評価の重点目標（具体的な姿）		
○ 規則正しい生活リズムで，学校や家庭での生活を充実させることができる生徒の育成		
○ 相手を思いやり，心のこもったあいさつや言葉がけができる生徒の育成		
○ 地域の人とのつながりを意識しながら，積極的にボランティア活動を行う生徒の育成		
重点目標実現のための三者の改善活動		
学校では	家庭では	地域では
○生徒に毎日の生活を振り返らせ，望ましい生活習慣について指導する。 ○生徒のあいさつの励行について学級や集会の場で褒める ○ボランティア活動や地域連携行事への参加生徒の割合を高める。 ○話し合い，学び合いの活動場面を増やし，他者との関わりを円滑にするために必要なスキルを指導する。	○日常のあいさつ，コミュニケーションの場を大切に，習慣化する。 ○寝る時間，起きる時間，学習時間を意識させながら望ましい生活リズムを定着させる。 ○テレビやインターネット，メールやSNS，ゲーム等のメディアに接する時間をコントロールできるようにさせる。 ○家族で地域行事に参加するよう心がける	○交通安全指導等の見守り活動で，地域の子供たちに声掛けをする。 ○地域防災訓練や職場体験等を通し，学校と地域の連携行事において，子供たちの活動を褒め，地域で必要としていることを伝える。 ○学区民運動会，夏祭り等の地域行事で子どもたちとのつながりを深める。

※ 昨年度，新型コロナウイルス感染拡大の影響により，十分な取組ができなかったため，重点目標や改善活動等は，昨年度からの継続とする。